

2025年12月期 通期決算説明

IR対談動画

フリーアナウンサー

日本アクア社長

佐田志歩 × 中村文隆

2026年2月

株式会社日本アクア



JPX-NIKKEI Mid Small



証券コード 1429

➤Start Slide

01 日本アクアについて

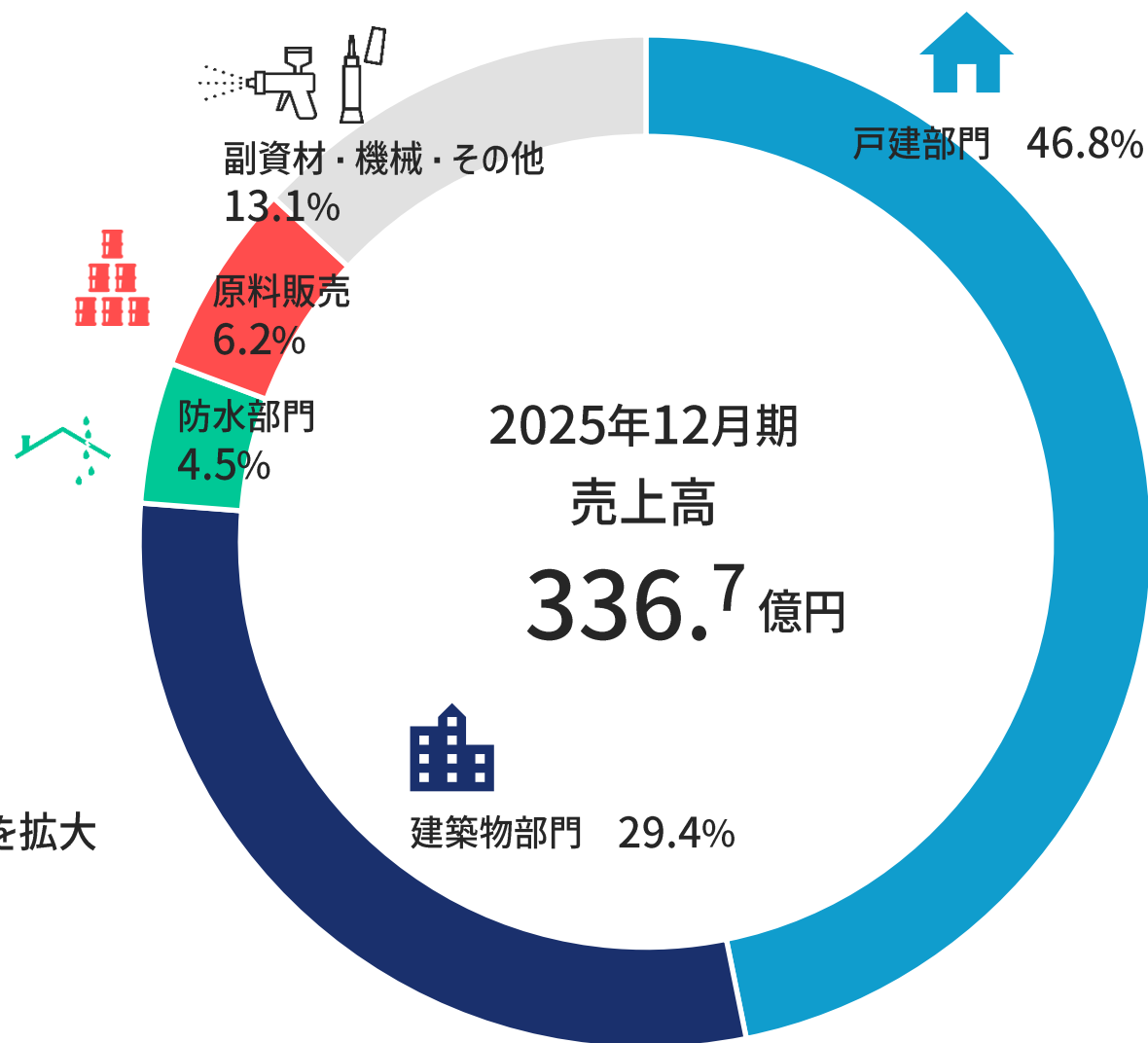
02 2025年12月期 決算ハイライト

03 2026年12月期 部門別見通し

04 株主・投資家の皆様へ

日本アクアについて

- ✓ 創業：2004年11月、現社長・中村文隆が創業
- ✓ 事業の起点：戸建住宅向け断熱施工（アクアフォーム）から事業開始
- ✓ 水平展開：建築物部門、防水部門へと領域を拡大
- ✓ 垂直統合：ウレタン原料の開発・製造まで一貫対応
- ✓ 成長モデル：水平展開 × 垂直統合の両輪で業容を拡大



断熱材が支えるカーボンニュートラル社会

2022

建築物省エネ法
改正法が成立



ZEH/ZEB化で
脱炭素社会を実現

2025

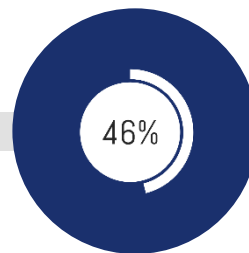
新築住宅・建築物に
省エネ基準を義務化



すべての新築物件に
省エネ基準を義務化

2030

温室効果ガス46%減



新築住宅・建築物の
平均をZEH/ZEB化

2050

カーボンニュートラル
脱炭素社会の実現



すべての住宅・建築物を
ZEH/ZEBへ

ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）：高断熱・高効率設備＋太陽光発電等により、住宅の年間エネルギー消費量を実質ゼロにする住宅
ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）：同様に、建築物全体のエネルギー消費を実質ゼロにする建物

アクアフォームの強み



高い断熱・気密性能

構造材への密着発泡による、すきま風・結露の防止



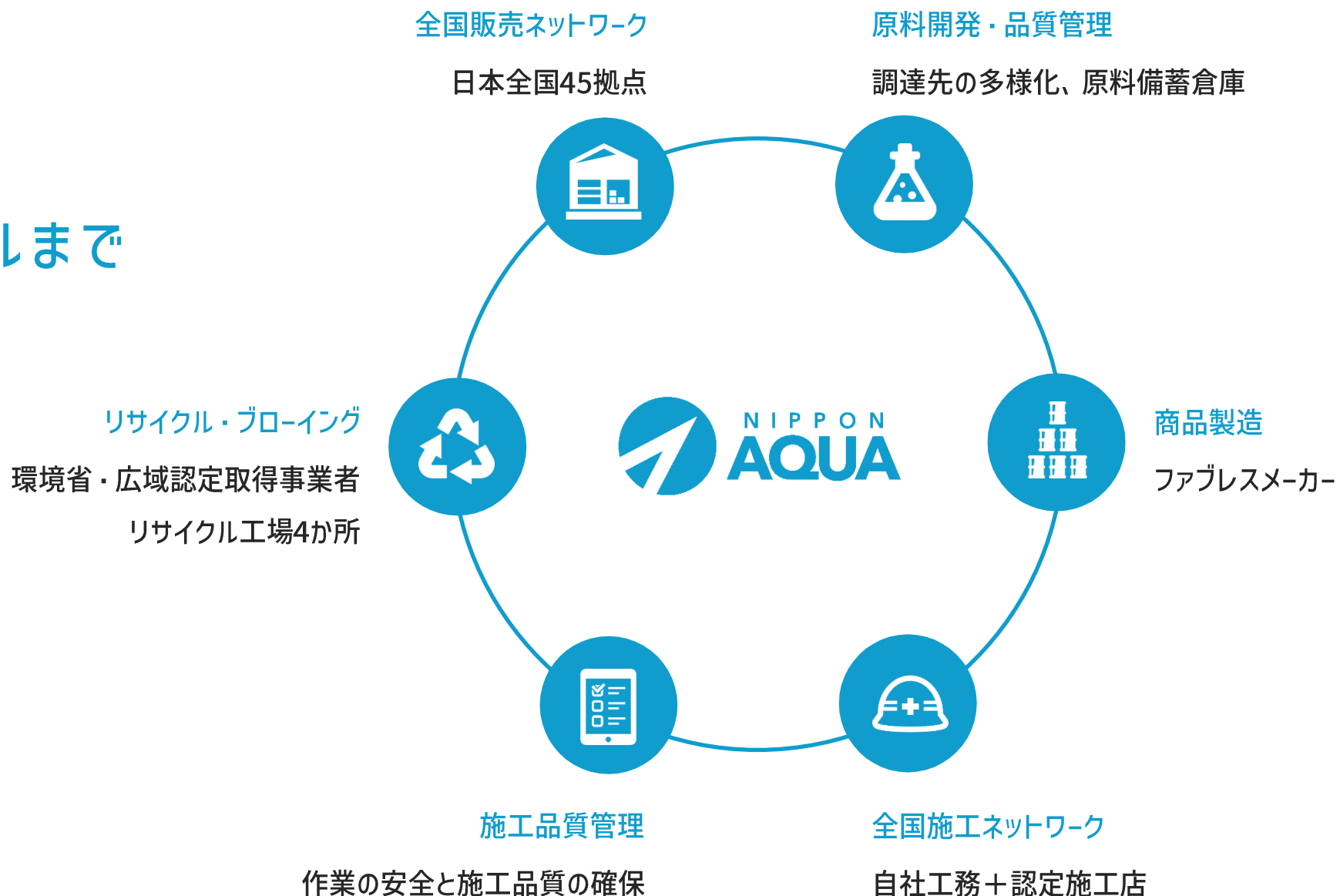
複雑な形状にも対応可能

吹付けによる複雑な部位への対応と
カットミス・施工ムラの抑制



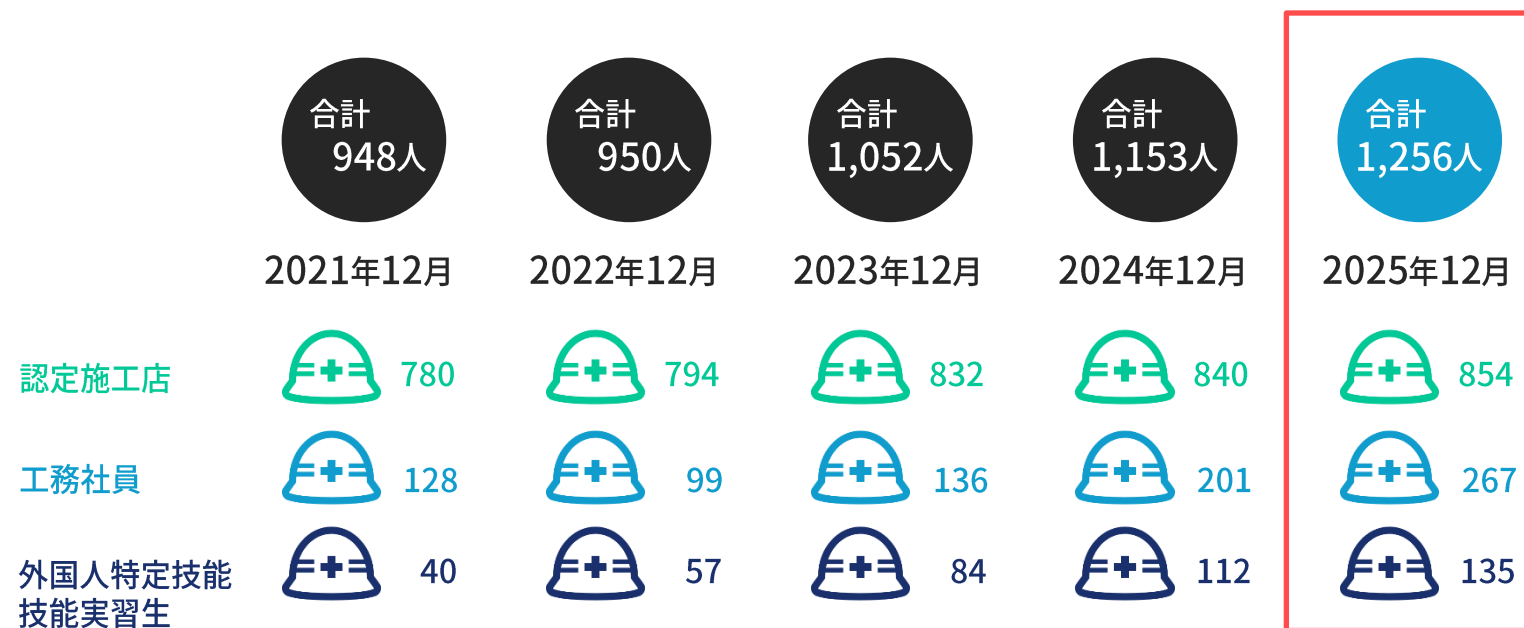
原料開発から 施工・リサイクルまで

✓ 唯一無二のビジネスモデル



施工力の推移

- ✓ 施工体制方針：競合比、質・量ともに優位な体制構築
- ✓ 人員増強：2023年以降、認定施工店社員を含め年100名規模で増員
- ✓ 2026年計画：体制強化を優先し、70～80名の増員を予定



01 日本アクアについて

02 2025年12月期 決算ハイライト

03 2026年12月期 部門別見通し

04 株主・投資家の皆様へ

決算ハイライト：増収増益で着地

- ✓ 戸建部門：広域展開ビルダーや大手ビルダーなど、大口顧客からの受注が伸長
- ✓ 建築物部門：一部大型案件に遅れが生じたものの、全体としては安定的に推移
- ✓ 防水部門：売上が前年比2倍超と大きく伸長

売上高

33,670 百万円 前年比
+11.3%

売上総利益

7,738 百万円 前年比
+12.8%

経常利益

2,794 百万円 前年比
+7.3%



戸建部門

15,765 百万円 前年比
+15.0%



建築物部門

9,896 百万円 前年比
+4.2%

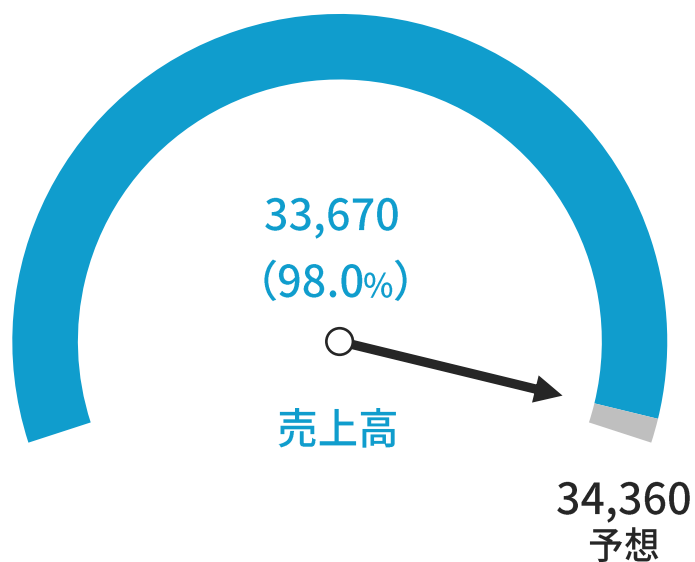


防水部門・その他売上高

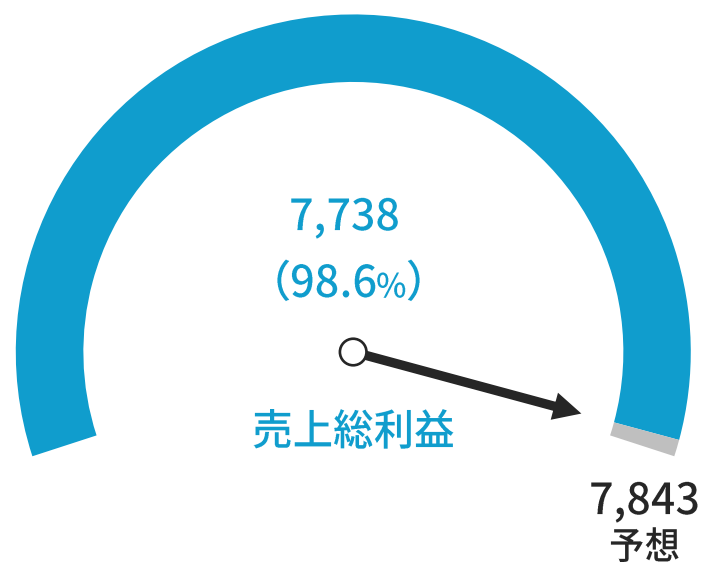
8,009 百万円 前年比
+13.4%

業績予想に対する結果

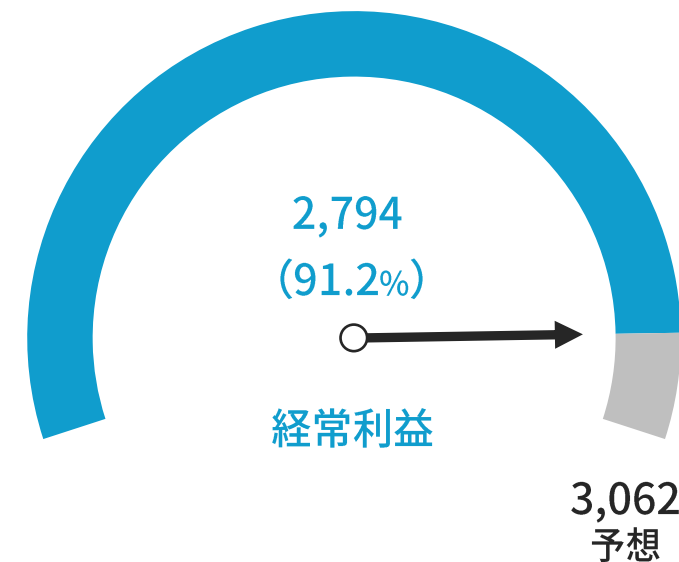
(単位：百万円)



- ✓ 戸建、防水は予想超過
- ✓ 建築物が発注側の着工判断遅れ等の影響を受け19.8億円不足



- ✓ 売上総利益率 22.7% ▶ 23.0%
- ✓ 売上高の未達により1.0億円不足



- ✓ 販管費は人的投資強化のため人件費実習生関連費を中心に1.2億円超過
- ✓ 営業利益は2.3億円不足
- ✓ 営業外費用は0.3億円増加

01 日本アクアについて

02 2025年12月期 決算ハイライト

03 2026年12月期 部門別見通し

04 株主・投資家の皆様へ

業績予想：競争力強化フェーズ

- ✓ 戸建部門：大口顧客からの受注が継続拡大 高気密・高断熱化の進展により単価上昇
- ✓ 建築物部門：大型案件は2026年後半から回復見込み 中小型案件の獲得を推進
- ✓ 防水部門：施工実績を基盤に、新規大型案件・リピート案件を着実に獲得

売上高

37,000 百万円 前年比
+9.9%

売上総利益

8,177 百万円 前年比
+5.7%

経常利益

2,910 百万円 前年比
+4.1%



戸建部門

17,097 百万円 前年比
+8.5%



建築物部門

10,948 百万円 前年比
+10.6%



防水部門・その他売上高

8,954 百万円 前年比
+11.8%

四半期予想

(単位：百万円)

	2025年実績				2026年予想							
	1Q	2Q	3Q	FY	1Q	YoY	2Q	YoY	3Q	YoY	FY	YoY
売上高	7,501	15,983	24,288	33,670	7,279	△3.7%	15,921	△0.5%	25,126	+3.0%	37,000	+9.2%
戸建部門	3,669	7,548	11,299	15,765	3,765	+2.6%	7,990	+5.9%	12,066	+6.8%	17,097	+8.5%
建築物部門	2,362	4,815	7,211	9,896	1,980	△16.2%	4,274	△11.2%	7,053	△2.2%	10,948	+10.6%
防水部門	159	625	1,111	1,515	249	+56.5%	759	+21.4%	1,333	+20.0%	2,096	+38.3%
原料販売	394	884	1,420	2,072	443	+12.2%	988	+11.7%	1,623	+14.3%	2,377	+14.7%
その他	916	2,108	3,246	4,420	841	△8.2%	1,909	△9.5%	3,050	△6.0%	4,480	+1.4%
売上原価	5,867	12,490	18,896	25,932	5,736	△2.2%	12,493	+0.0%	19,629	+3.9%	28,822	+11.1%
売上総利益	1,634	3,492	5,391	7,738	1,543	△5.6%	3,427	△1.9%	5,497	+2.0%	8,177	+5.7%
販管費	1,107	2,400	3,651	4,964	1,236	+11.6%	2,589	+7.9%	3,921	+7.4%	5,277	+6.3%
営業利益	526	1,091	1,740	2,774	306	△41.8%	837	△23.3%	1,575	△9.5%	2,900	+4.5%
経常利益	529	1,102	1,753	2,794	310	△41.4%	845	△23.3%	1,586	△9.5%	2,910	+4.1%
当期純利益	359	748	1,186	1,895	210	△41.4%	572	△23.4%	1,075	△9.3%	1,972	+4.1%

戸建部門 (単位：百万円)

	2024	前年比	2025	前年比	2026	前年比
売上高	13,704	△0.7 %	15,765	+15.0 %	17,097	+8.5 %
売上総利益	3,196	△13.3 %	3,557	+11.3 %	3,955	+11.2 %
売上総利益率	23.3 %		22.6 %		23.1 %	

- ✓ 広域展開ビルダー：施工数の伸長に加え、当社シェアが拡大
- ✓ 大手ビルダー（従前の新規大口先）：施工数が拡大し、気密測定サービスを全戸採用
2025年度は通年寄与（2024年12月より本格取引を開始）
- ✓ 断熱等級6：全施工数に占める割合 25%（2025年：15%*）
- ✓ 気密測定サービス：全施工数に占める採用率 40%（2025年：24%）

*断熱等級は受注時に指定されていないため、本数値は工務店様の商品設計や施工内容をもとに、当社で推定しています。

GX ZEH：ZEH基準の引き上げへ（断熱等級5▶6）

- ✓ 2027年4月から適用
- ✓ マンション等集合住宅（ZEH-M）にも適用

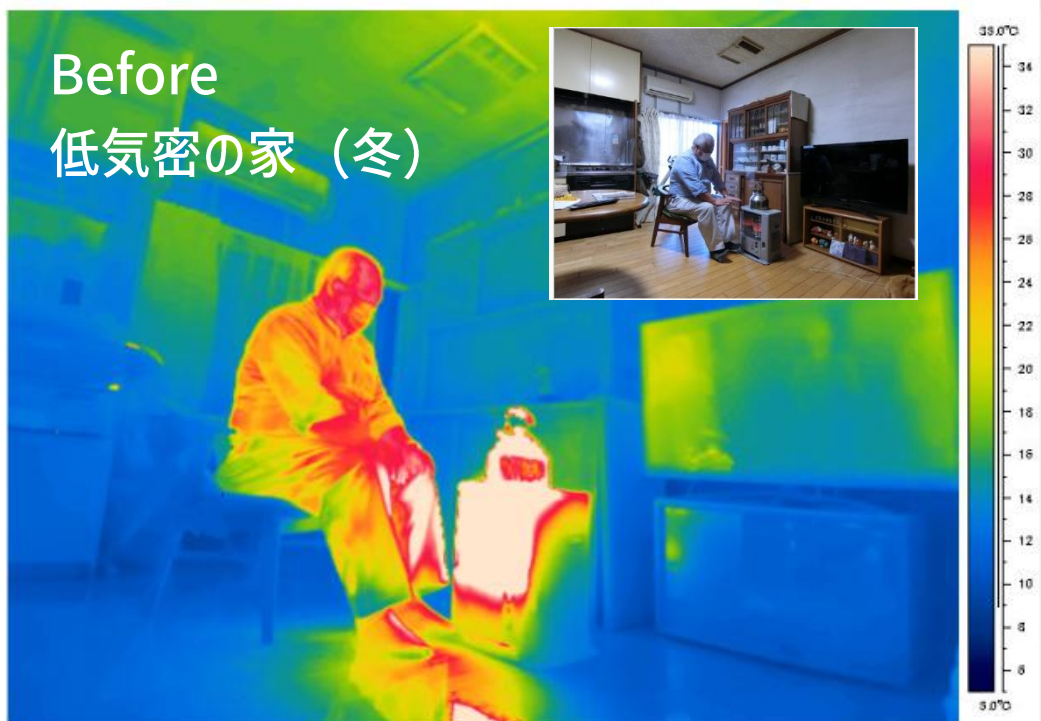
				ZEH 現行基準	ZEH 新基準		
断熱等級 1	断熱等級 2	断熱等級 3	断熱等級 4	断熱等級 5	断熱等級 6	断熱等級 7	
UA値 1.67		UA値 1.54	UA値 0.87	UA値 0.60	UA値 0.46	UA値 0.26	
		η AC値 3.8	η AC値 2.8	η AC値 2.8	η AC値 2.8	η AC値 2.8	

UA値＝ 外皮平均熱貫流率
ユ-エ- （建物からの熱の逃げやすさ）

η AC値＝ 冷房期の平均日射熱取得率
イ-タエ-シー （建物への日射熱の入りやすさ）

気密なき断熱は無力なり

- ✓ 低気密は室温のムラや冷気の侵入、高气密は快適温度と省エネに貢献
- ✓ アクアフォームなら高断熱と高气密を同時に実現



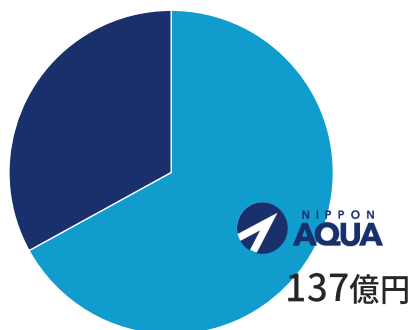


まるっとアクアフォーム

- ✓ 一棟の断熱材をワンストップ提供
- ✓ 一棟ごとに最適な断熱プランを提供

現場発泡ウレタン施工
市場規模 220億円

吹付ウレタン
(他社)



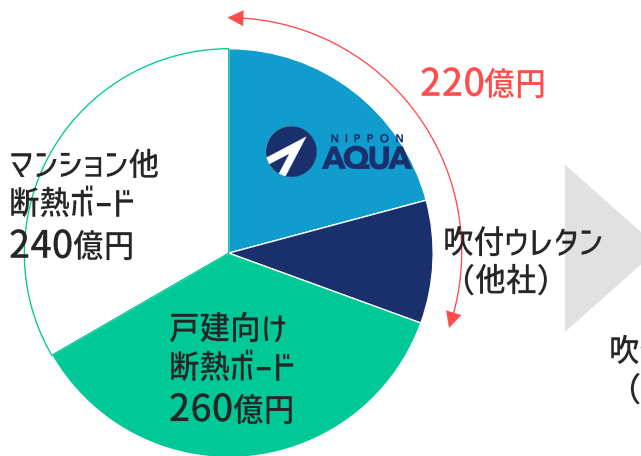
現場発泡ウレタン施工 + 断熱ボード
市場規模 720億円

マンション他
断熱ボード
240億円

戸建向け
断熱ボード
260億円

220億円

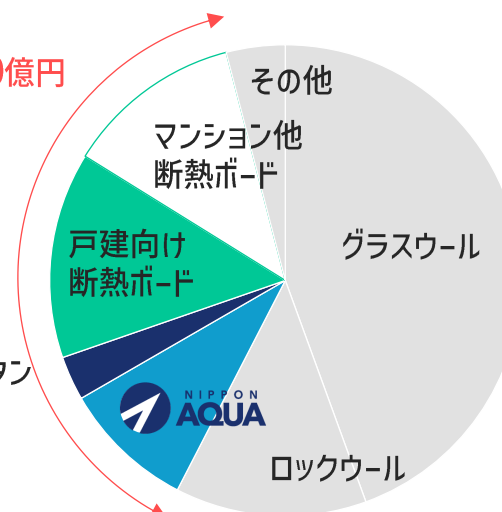
吹付ウレタン
(他社)



住宅向け断熱材市場
市場規模 1,900億円

720億円

吹付ウレタン
(他社)



建築物部門

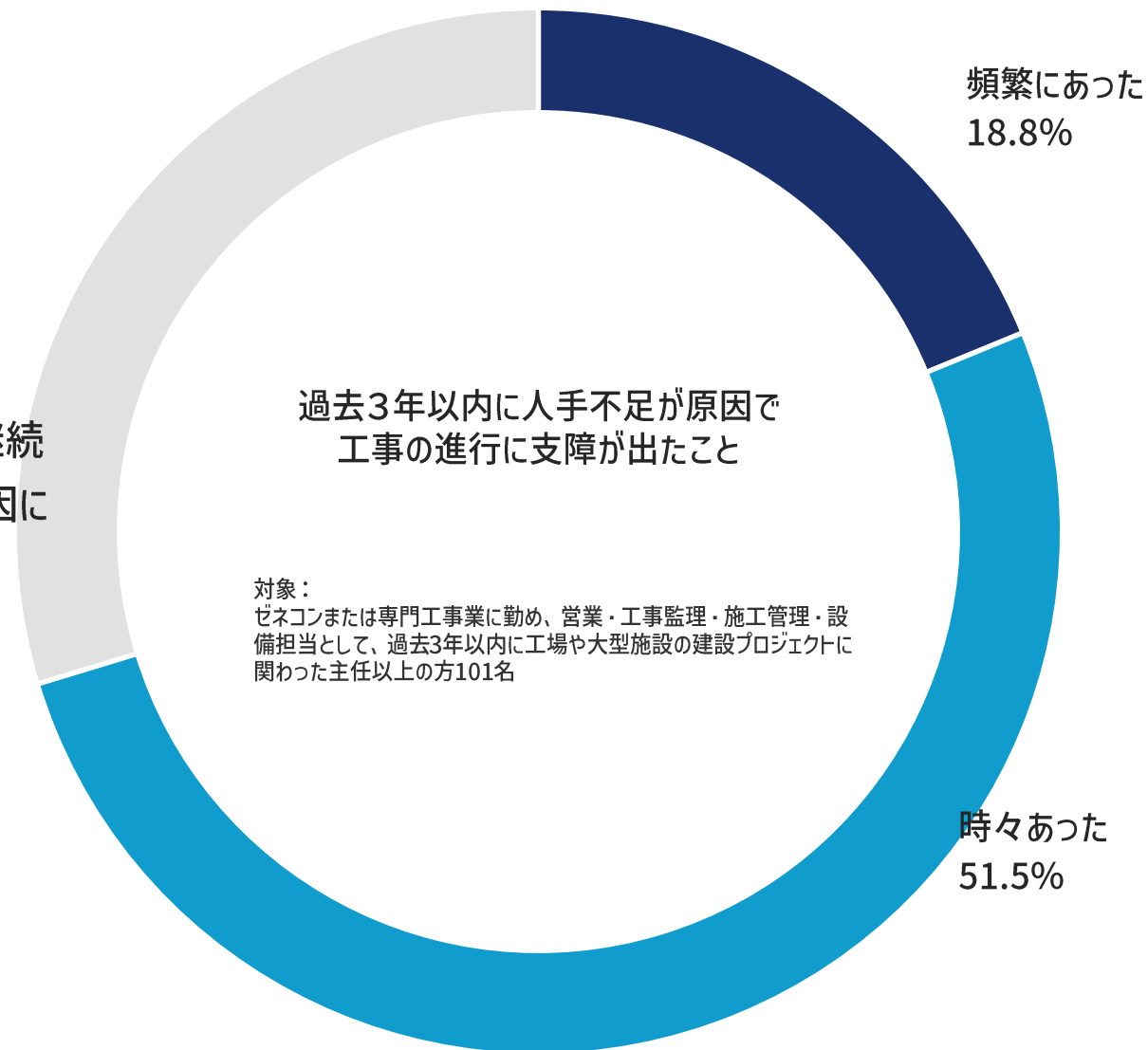
(単位：百万円)

	2024	前年比	2025	前年比	2026	前年比
売上高	9,499	+14.9 %	9,896	+4.2 %	10,948	+10.6 %
売上総利益	2,329	+18.7 %	2,353	+1.0 %	2,167	△7.9 %
売上総利益率	24.5 %		23.8 %		19.8 %	

- ✓ 首都圏以外は大型案件が一時減少、2026年後半から回復見込み
- ✓ 中小規模案件の獲得と付加価値提案を強化
- ✓ 工場・データセンター分野では案件が堅調

大型工事の遅延（報道整理）

- ✓ 建設業界では人手不足を背景に、2026年度内の大型工事受注は困難との見方が多数
- ✓ 既受注案件においても、工期遅延リスクが顕在化
- ✓ 設備工事分野を中心に、専門人材・協力会社の不足が継続
- ✓ 受注余力の低下が、民間設備投資や公共工事の制約要因に



社会インフラの高度化がもたらす断熱需要の拡大

半導体設備投資

CAGR 9%
(年平均成長率)

2024年
1.7 兆円

2030年予測
2.8 兆円

データセンター市場

CAGR 6%
(年平均成長率)

2024年
4.1 兆円

2030年予測
5.4 兆円

コールドチェーン市場

CAGR 5%
(年平均成長率)

2025年
3.1 兆円

2030年予測
3.9 兆円

防水部門

(単位：百万円)

	2024	前年比	2025	前年比	2026	前年比
売上高	719	+47.1 %	1,515	+110.5 %	2,096	+38.3 %
売上総利益	△22	- %	223	- %	415	+86.3 %
売上総利益率	△3.1 %		14.7 %		19.8 %	

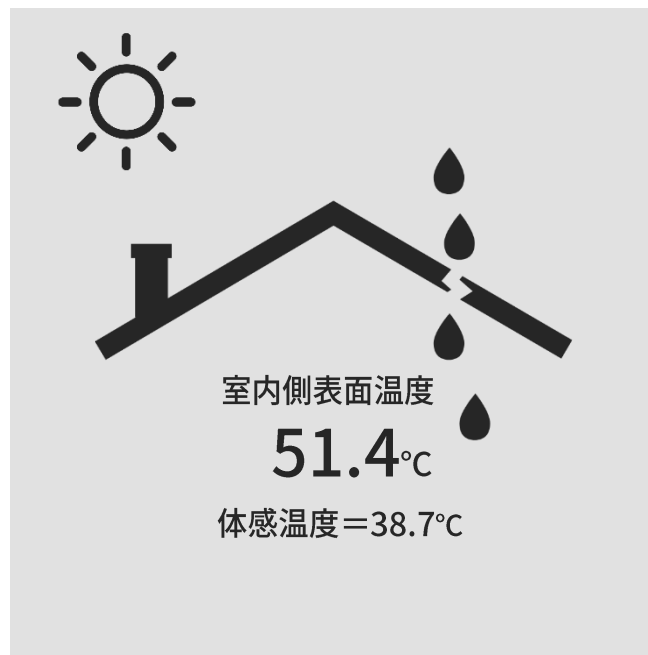
- ✓ 防水と断熱・遮熱を組み合わせた「FUKUGEN工法」で差別化
- ✓ 物流倉庫・工場・チェーンストア等の改修案件がリピート化
- ✓ 採算性の高い非住宅分野案件の優先による利益率向上
- ✓ 新築集合住宅における防水施工が増加
- ✓ 施工実績の拡大や国家的重要施設での採用を背景に認知度が向上

FUKUGEN工法

雨漏りと日射対策を同時に実現

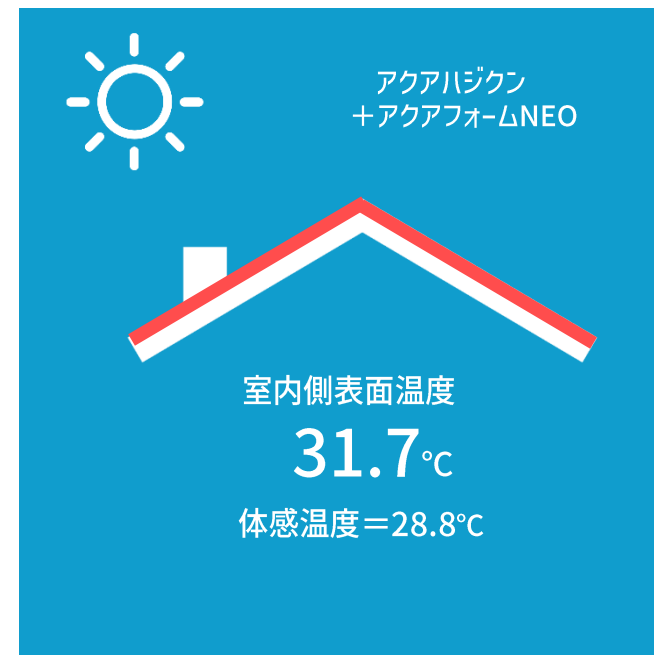


※建物外表面温度および室内側表面温度は与条件におけるシミュレーション結果であり、実際の各温度を保証するものではありません。※建物外表面の熱授受計算：井上書院「最新建築環境工学 改定3版」田中俊六・武田仁・土屋高雄・岩田利枝・寺尾道仁共著 6.建築伝熱 6-3.建物外表面の熱授受(1)外壁面の熱授受とSAT※室外側表面熱伝達率25 (W/m²・K) ※室内側表面熱伝達率11 (W/m²・K) ※体感温度 $\div 2$ により簡易的に算出した目安となります。実際の体感温度を保証するものではありません。



予条件

※熱貫流率計算：スレート熱伝導率 $\lambda = 1.000$ (W/m²・K) ※建物外表面の熱授受（日射吸収）：日射吸収係数 $A_s = 0.85$



予条件

※熱貫流率計算：スレート熱伝導率 $\lambda = 1.000$ (W/m²・K)、断熱材 $\lambda = 0.026$ (W/m²・K) ※建物外表面の熱授受（日射吸収）：日射吸収係数 $A_s = 0.60$

非住宅分野で広がる防水施工実績



全国展開する物流倉庫



鉄道会社の車両基地



高層ビルの屋上大広場



国内有数の重工系製造拠点



老舗和菓子店の主力工場



青果向け低温倉庫



大型スーパーマーケット



国家的重要施設

 原料販売
(単位：百万円)

	2024	前年比	2025	前年比	2026	前年比
売上高	2,226	+16.2 %	2,072	△6.9 %	2,377	+14.7 %
売上総利益	372	+8.8 %	409	+9.8 %	508	+24.1 %
売上総利益率	16.7 %		19.8 %		21.4 %	

 **副資材
機械
その他**
(単位：百万円)

	2024	前年比	2025	前年比	2026	前年比
売上高	4,115	+6.3 %	4,420	+7.4 %	4,480	+1.4 %
売上総利益	984	+1.7 %	1,195	+21.4 %	1,130	△5.4 %
売上総利益率	23.9 %		27.0 %		25.2 %	

01 日本アクアについて

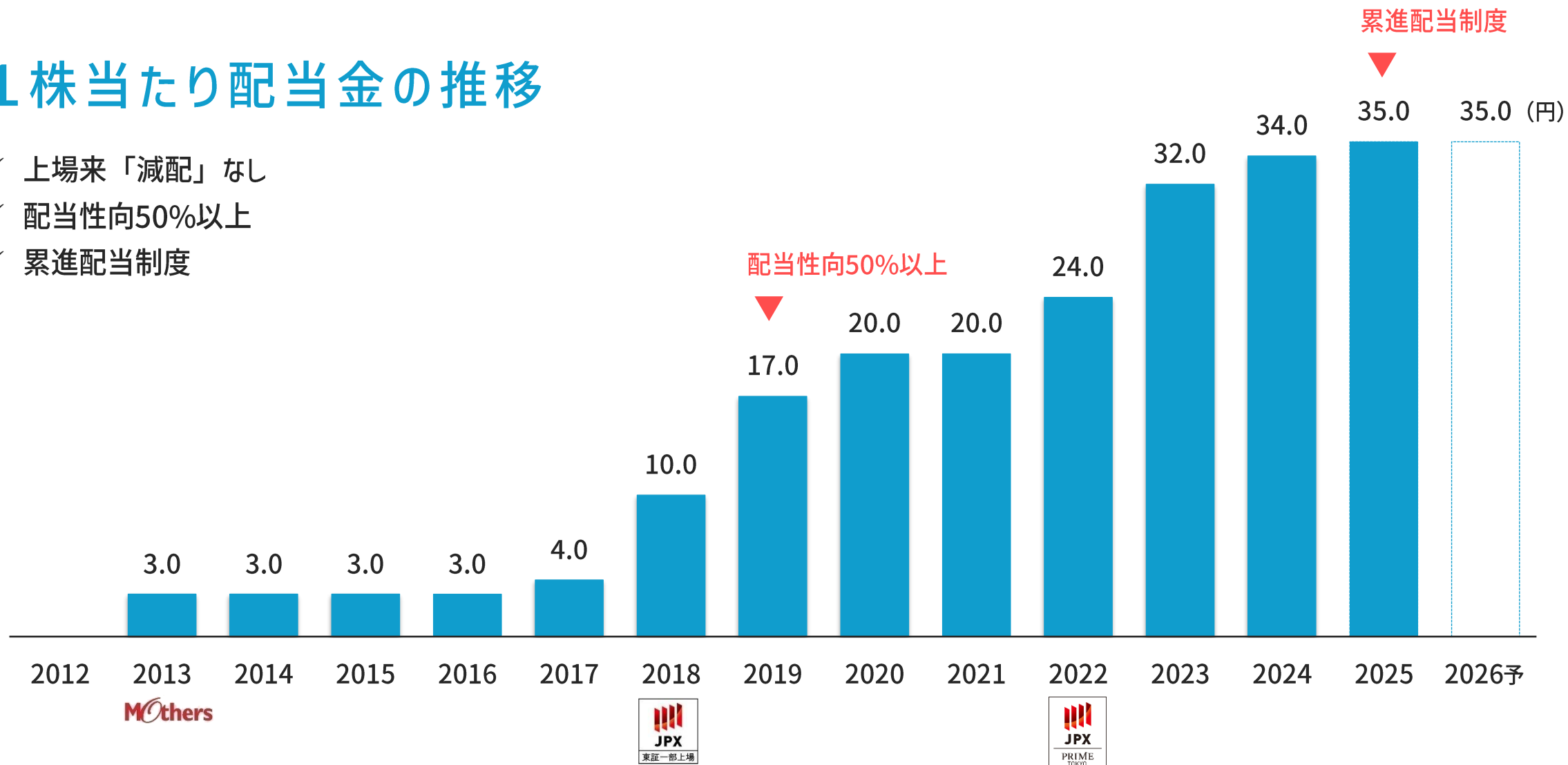
02 2025年12月期 決算ハイライト

03 2026年12月期 部門別見通し

04 株主・投資家の皆様へ

1株当たり配当金の推移

- ✓ 上場来「減配」なし
- ✓ 配当性向50%以上
- ✓ 累進配当制度



✓2026年度
増収増益＋競争力強化フェーズ
✓中長期の目指す姿
売上高1,000億円企業

➤End Slide

免責事項及び将来見通しに関する注意事項

本資料は、株式会社日本アクアの財務情報・経営情報等に関する情報提供を目的としたものであり、一切の投資勧誘又はそれに類似する行為を目的とするものではありません。実際の投資に際しては、ご自身の判断と責任において投資判断を行っていただきますようお願い致します。また、本資料の記述内容につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

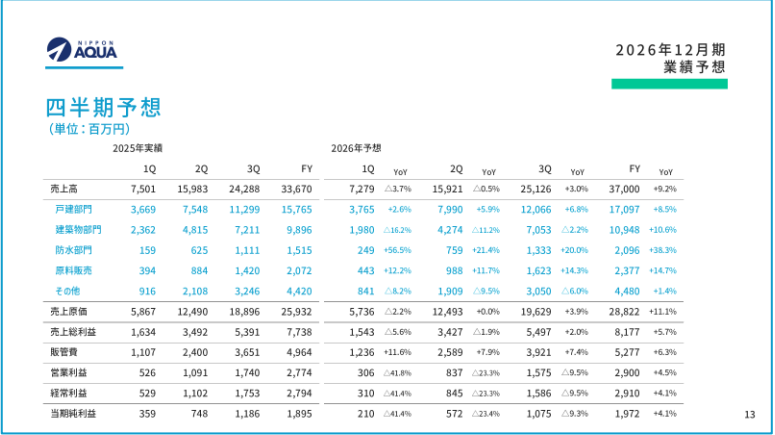
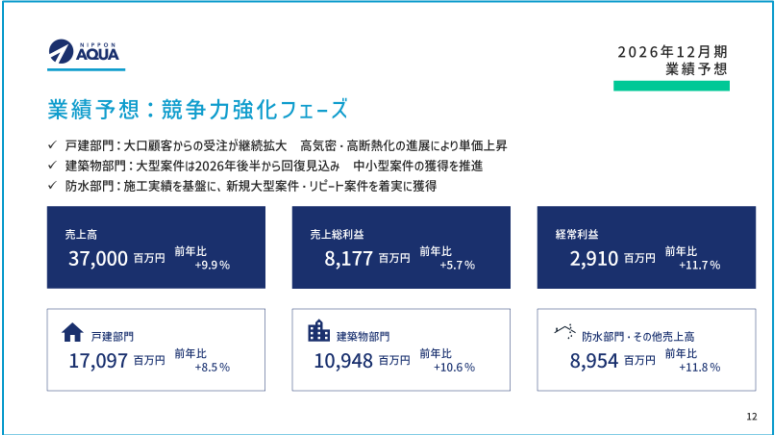
お問い合わせ先

経営企画部（担当：小室）
03-5463-1117
m.komuro@n-aqua.com

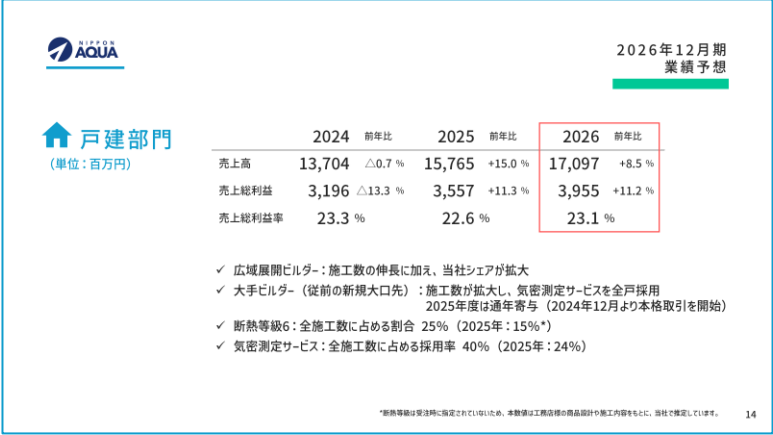
本資料には、当社の計画など将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、作成時点において入手可能な情報に基づいており、様々なリスクや不確実性が内在しています。従って、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。また、新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来に関する記述を更新、変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

本資料の内容に関する一切の権利は当社に帰属しております。複写及び無断転載はご遠慮ください。

差し替え依頼



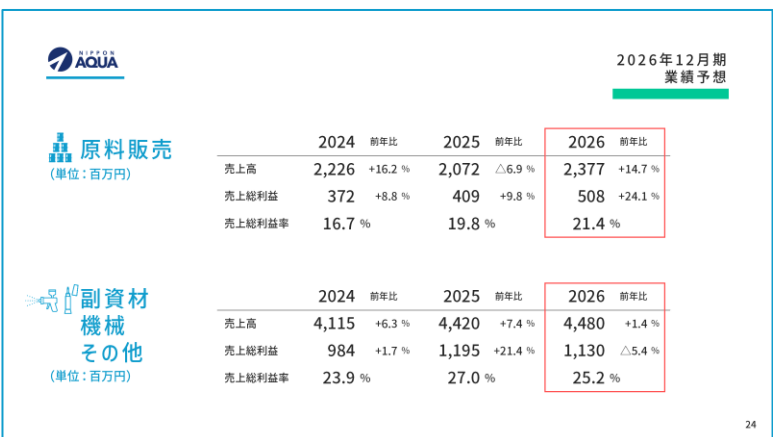
13



P12

P13

P14



P18

P21

P24